



JALとアマデウス、戦略的パートナーシップを締結

～高品質なサービス提供と利便性の向上を目指します～

2019年10月2日

第 19076号

JALは、急速に変化するマーケット環境に対応するため、Amadeus IT Group S.A.(本社：スペイン、最高経営責任者兼社長:ルイス・マロト、以下「アマデウス」と、GDS(*1)に関する戦略的パートナーシップを締結しました。JALは、このパートナーシップに基づき、日本国内の旅行会社に対して、国際線を予約する際にはアマデウスが提供するGDSシステム「Amadeus Selling Platform Connect(アマデウス セリング プラットフォーム コネクト、以下「セルコネクト」)の利用を推奨します。「セルコネクト」の利用により、JALが導入している旅客サービスシステム「Amadeus Altéa(アマデウス アルテア)」とリアルタイムで正確かつ効率的に予約情報が共有され、お客さまへよりスムーズなご案内が可能となります。

JALはグローバルネットワークと強靱な財務体質を背景とした高い技術力・開発力をもつアマデウスと協力して、これからも高品質なサービスの提供とお客さまの利便性の向上を目指してまいります。

これに伴い、現在の推奨GDSシステムである「AXESS」を運営する株式会社アクセス国際ネットワーク(以下、「アクセス」)の営業を、2021年3月31日をもって終了します。なお、アクセスにより展開されているJAL国内線用の予約端末は、2021年4月以降は別の手段にて提供いたしますが、操作方法に変更は生じない予定です。

*1)GDS Global Distribution Systemの頭文字をとってGDSと称される、国際線の航空座席の予約・発券、その他ホテルやレンタカーなどの旅行商材を取り扱える、オンライン旅行会社や業務渡航に特化した旅行会社を含む、旅行会社(プロ)向けの予約システム

以上